

チャレンジ ワークシート①

組 番		月 日	正答数
名前			8

● 総合問題にチャレンジして、さらに力をつける。

問題

次の文章を読んで、あとの問題に答えましょう。

こぶしの中のトノサマバッタを勇一に見せようと、つまみ上げたときだった。バッタは指を思いきりけって、パツととびたった。

「アッ！」

① 追いかけてみたけれど、すぐに見失ってしまった。

「どじだなあ。せっかくなにかまえたのに。」

バッタは思わぬところからとつせんとびだしてきた。すぐ近くにとんで、よちよちと方向をかえたりする。そっとそっと近づいても、トノサマバッタは敏感で、すぐにからだをクイツとしずめて、にげる態勢をつくってしまう。バッタは、間一髪まで待って、ジャンプいちばんとびあがると、二十メートルも三十メートルもバタバタとんで、草むらに身をかくした。② にげるのを楽しんでいるようだった。わたると勇一は、さんざんくやしい思いをした。

勇一の持っている虫とりあみは、草をたたいておいたてるのに役にたったが、あとはなんの役にもたたなかった。わたるのかぶっていたぼうしを、あみの代わりにもしてみたが、③ それもまんまとかわされる。

④ 追いかけてまわしているうちに、さいしよにわたるがつかまえたように、着地したときをねらうのがいいことに、ふたりは気がついた。それで、おいだす人と、つかまえる人に分かれてためしたりもしたが、目のまえにやってくるバッタなどいいのだった。やっぱり、二人はバッタのあとを追いかけることになった。

「わたる！」

⑤ と、声を殺して勇一がよんだ。

「でけえ。」

手まねきしている。

わたるがかけつけてみると、道の上に十センチ以上もあるような、トノサマバッタがいた。じっと動かない。

⑥ 勇一はペロツとうわくちびるをなめて、そろそろ近づき、ゆっくりとこしを下ろした。ゆっくりゆっくり手をバッタのほうに近づけていく。勇一が手を下ろすのと同時に、バッタはジャンプした。⑦ (最上二平「おばけバッタ」より)

(1) 見失^アの読み方を、ひらがなで書きましょう。

って

(2) さいしよ^イを、漢字に直して書きましょう。

(3) どじだ^①なあとありますが、どういうことを「どじだなあ」と言っているのですか。次から一つ選びましょう。

1 バッタが、なかなかにげられないでいること。

2 バッタが、わたるにつかまえられてしまったこと。

3 わたるが、バッタをなかなかつかまえられないこと。

4 わたるが、つかまえたバッタをにがしてしまったこと。

〔 〕

(4) にげるのを楽しんでいるようだったとありますが、このようなバッタの様子を見て、わたると勇一はどんな思いをしましたか。文章中から六字でぬきだしましょう。

--	--	--	--	--	--	--

(5) それ^③は、何を指していますか。次の□^②にあてはまる言葉を、文章中からぬきだしましょう。

--	--	--	--

の代わりにした。

(6) 声^④を殺してとありますが、なぜ「声を殺して」よんだのですか。書きましょう。

--	--	--	--	--	--	--

(7) ペロツ^⑤とは、どの言葉をくわしく説明していますか。次から一つ選びましょう。

1 勇一は 2 なめて 3 ちかづき 4 おろした 〔 〕

(8) 次の1〜4を、起こった順番になるようにならべかえましょう。

1 十センチ以上あるバッタを見つけた。

2 わたるのぼうしをあみの代わりにした。

3 つかまえたバッタににげられてしまった。

4 バッタが着地したときをねらうことにした。

〔 〕 ↓ ↓ ↓ 〕

チャレンジワークシート①



P5JA1_012

(1) みうしな(って)

(2) 最初

(3) 4

(4) くやしい思い

(5) あみ ぼうし

(6) 例 バッタににげられないように
するため。

(7) 2

(8) 3→2→4→1

(3) 直前の部分から読み取りましょう。

わたるが、勇一ゆういちにバッタを見せよう
として、バッタをにがしてしまった
のです。

(4) 直後に「さんざんくやしい思いを
した」とあります。

(6) このとき、勇一が「十センチ以上
もあるような、トノサマバッタ」を
見つけていたことから考えましょう。

(8) わたるがつかまえたバッタをにが
してしまい、それを追いかけている
うちに、「十センチ以上もあるような、
トノサマバッタ」を見つけました。

チャレンジ ワークシート②

名前	組 番		正答数
	月	日	
8			

● 総合問題にチャレンジして、さらに力をつける。

問題

次の文章を読んで、あとの問題に答えましょう。

〔ウラギンシジミというチョウは、葉のうらにとまって冬をこします。〕

次の年、さらにたくさんさんのウラギンシジミを見つけると、こんどは、なぜ、^ア号令^ワをかけたように、^①同じ方向を向いてとまっているのだろうか、という疑問も出てきました。

^②同じ場所で冬ごしをしているウラギンシジミを何びきか見つけると、決まって頭を葉先のほうに向けて、からだの向きをそろえるようにしてとまっています。一枚の葉を二ひき、多いときは四ひきもりようしている場合があったのですが、そのときも仲良くならんでいるのですから、不思議でたまりませんでした。

（きっと、ウラギンシジミが好むとまり方があるにちがいない。そして、なにか理由があるのではないだろうか。）

そう考えて、^③方向を向いているか、方位磁石を持ち歩いて調べてみました。すると頭を、南東、南、南西に向けてとまっているものが多いことがわかりました。

ウラギンシジミは、南向きの、日だまりのような場所の木で多く見つかります。また一本の木でも、北向きの日当たりの悪い枝の葉にはあまりいません。そのような条件で、頭が南方向を向いているということは、^④東のほうからと、西のほうからの光がよく当たるといことです。つまり、朝夕、気温が低いときに、羽によく太陽が当たります。

気温が低いと、全く動くこともできないウラギンシジミが、太陽の光をうまく使って、できるだけからだを温めておこうとしているのではないのでしょうか。

（高柳芳恵「葉の裏で冬を生きぬくチョウ」より）

(1) 号令^アの読み方を、ひらがなで書きましょう。

(2) り^イようを、漢字に直して書きましょう。

(3) 同じは、どの言葉^①をくわしく説明していますか。次から一つ選びましょう。

- 1 かけた 2 方向を 3 とまって 4 ききました 〇 〇

(4) 頭^②を葉先のほうに向けて、からだの向きをそろえるようにしてとまっていますとありますが、方位磁石で調べた結果、どちらの方向を向いてとまっているものが多いとわかりましたか。方向を表す言葉を、文章中から三つぬきだしましょう。

〃 〃 〃 〃 〃

(5) 文章中の ③ にあてはまる言葉を、次から一つ選びましょう。

- 1 この 2 その 3 あの 4 どの 〇 〇

(6) ウラギンシジミは、どのような木で多く見つかりますか。次から一つ選びましょう。

- 1 北向きの、日だまりのような場所の木。
2 北向きの、日当たりの悪い場所の木。
3 南向きの、日だまりのような場所の木。
4 南向きの、日当たりの悪い場所の木。 〇 〇

(7) 東^④のほうからと、西のほうからの光がよく当たるとありますが、これは、言いかえるかどうかのことですか。次の 〇 にあてはまる言葉を、文章中からぬきだしましょう。

朝と夕方の気温が 〇 ときに、羽によく太陽が当たるといふこと。

(8) 筆者は、ウラギンシジミが同じ方向を向いてとまっているのはなぜだと考えましたか。次の 〇 にあてはまる言葉を、文章中からぬきだしましょう。

〇 をうまく使って、からだを 〇 おくため。

チャレンジワークシート②



P5JA1_013

- (1) ぐらい

(2) 利用

(3) 2

(4) 南東 南 南西

(5) 4

(6) 3

(7) 低い

(8) 太陽の光 温めて
- (4) 「頭を、南東、南、南西に向けてとまっているものが多いことがわかりました」と書かれています。

(6) 最後から二つめの段落に、「南向きの、日だまりのような場所の木で多く見つかります」とあります。

(7) 直後に「つまり」とあることに注目しましょう。同じ内ようを言いかえています。

(8) 最後の段落で、筆者の考えをまとめています。